

発行：御殿場市一般廃棄物処理事業協同組合 青年部
〒412-0039 静岡県御殿場市電307-7
TEL: 0550-78-7853 FAX: 0550-70-9153
E-mail: yumekamado@coast.ocn.ne.jp



当組合は、循環型社会の形成及び可燃ごみ処理施設の負荷低減を推進するため、生ごみ堆肥化施設「ゆめかまど」を建設。地域の皆様のために環境に配慮した事業を展開しています。

当組合が行う生ごみの「堆肥化」のしくみ【HDM方式】

当組合で行っている生ごみのたい肥化は、**HDM方式**と呼ばれる方式を採用しています。**HDM**とは**High Decreasing Microbe-bionic**（微生物による高度減容化）の略称。有機物を分解する微生物を含む菌床（木片チップ）を用意し、そこに生ごみを混ぜ酸素を供給することにより微生物による**好気発酵分解**を促す。その時生じる熱（50℃～70℃）によって急速に水分が蒸発することで、短時間で大幅な減量が可能（24時間で90%以上、数か月後には投入した生ごみの93%強まで分解・減量可能）。醗酵が終わった菌床をふるいにかけて良質な堆肥ができます。

— 生ごみたい肥化へのご理解とご協力をお願い —

当組合では、市内モデル地区や学校給食センター及び、各組合員が契約している各事業所から排出・回収した事業系生ごみのたい肥化を進めております。生ごみたい肥化事業は、御殿場市の焼却センターの負荷低減につながるとともに、循環型社会の形成に寄与する有効な施策と考えており、継続的・安定的に事業の実施を目指しております。けれども、現状の回収量においては、コロナウイルスの影響も相まって年々減少傾向にあり、当組合が定める目標値には至っておりません。

市内生ごみたい肥化モデル地区（4区・約3,300世帯）においては、各ご家庭に多大なるご協力を頂いておりますが、回収率100%とまではいかないのが現状であります。すべての皆様にご協力を頂くことは至難の業ではありますが、循環型社会の形成、地域住民の安心した暮らしを守ることが、我々の使命であり、モデル地区の回収率を上げることが、今後のカギになると考えております。是非とも皆様の更なるご理解とご協力をお願いできればと思います。



組合員紹介コーナー

第1回/全8回 ※次回は、**高森商事(株)**をご紹介します
今回は、**株式会社タカダ産業**をご紹介します！

「愛される会社」であり続けるために

人々の生活を豊かに、快適な未来を目指します。

会社名：株式会社タカダ産業
所在地：御殿場市塚原740番地の1
代表者：代表取締役 高田 知
創業：昭和49年11月 資本金：1,000万円
従業員数：25名（令和5年8月現在）
許可等：一般廃棄物収集運搬業・処分業 産業廃棄物収集運搬業・処分業 等



タカダ産業では、環境に携わる企業として、常に地域や社会とのつながりを大切に参りました。お客様はもちろん、環境に配慮した循環型社会の形成に向けた活動を広げていく企業として、そして、「愛される会社」であり続けるために、社会・地域活動・リサイクル活動を積極的に進めております。



ボランティア活動



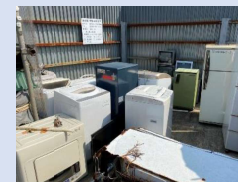
インターンシップ



出前授業活動



障害者支援活動



リサイクル事業



地域活性化事業

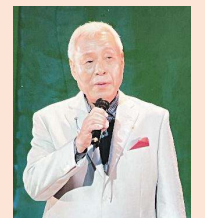
タカダ産業は、2018年からSDGsの趣旨に賛同し、活動を進めてきました。環境のプロとして、私たちができることを少しでも広げていくため、**タカダ**産業独自の視点から持続可能な世界の実現を目指し活動しています。



タカダ産業はSDGsを推進しています

【社長の趣味コーナー】～タカダ産業の社長ってこんな人～

- ・仕事大好き・・・趣味が仕事です。
- ・歌うことが好き・・・演歌を愛し、詞の心を伝えたいと思いながら、楽しく歌っています。また、歌うことで健康になり、体調管理につながっています。



ゆめかまど職員紹介



60歳から79歳の7名の職員で、生ごみ回収・受け入れ・攪拌・ふるいの各作業を行い、堆肥を作っています。できた堆肥は市内の希望者に配布し、好評をいただいています。



実証園での米及び野菜の栽培記録

実証園（米作）での収穫量等

R5.12月現在

	実証園1（塚原）		実証園2（深沢）	
	収穫量	食味検査スコア	収穫量	食味検査スコア
令和元年	450kg	70	390kg	75
令和2年	390kg	77	330kg	79
令和3年	360kg	73	330kg	76
令和4年	420kg	79	360kg	77
令和5年	390kg	81	390kg	78



エコクッキングでゴミを減らそう！

一般に、家庭で購入された食品のうち、約4%は食べ残しや調理くずとしてごみに出されていると言われています。また、買いすぎたり、使うのを忘れていたりして、手つかずのまま捨てられることもあるかもしれません。こうしたことは、もったいないと同時に、食費の無駄使いにもなります。

エコクッキングとは、毎日の買い物・料理・後片付けの中で食材を有効に活用し、無駄を少なくすることです。日ごろの調理時に少し工夫をすることで、家計の節約を図るとともに、ごみの減量に大きな効果をもたらします。

1日3食のうち1品だけでもエコクッキングしてみてください。御殿場市内の3万世帯がエコクッキングを実践することによって、台所から出る調理くずを1世帯あたり1日10グラム減らしたとしたら、年間では約110トンのごみが減ります。



生ごみの搬入実績

■生ごみ搬入量実績（令和3年度～

昨年度実績： 360,702 kg

令和3年度～令和5年度「ゆめかまど」生ごみ搬入量比較表

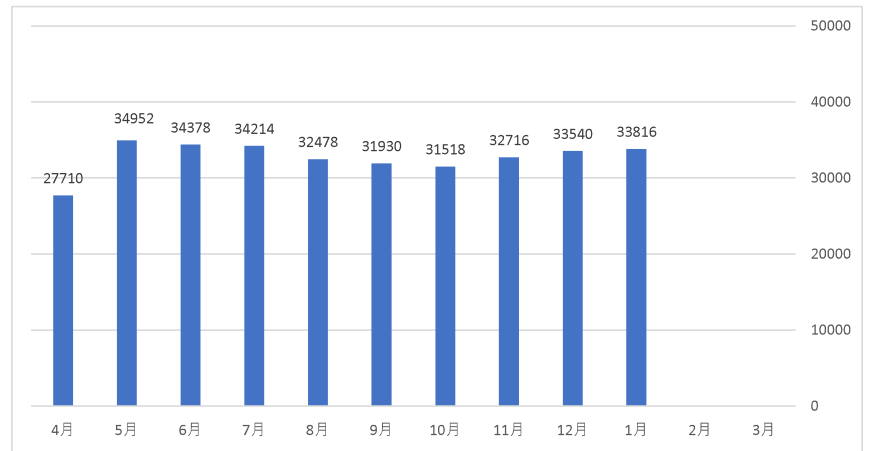
令和6年1月31日現在



■生ごみ搬入量実績（令和5年度）

本年度実績： 327,252 kg（1月現在）

本年の生ごみ搬入量は、1月現在で 33816 kg の生ごみの搬入がありました。搬入先の内訳として、事業系が最も多く、次いで一般家庭が多く搬入されました。



■堆肥配布件数実績（平成25年度～

	H25	H26	H2	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
配布件数	300件	390件	506件	464件	280件	766件	888件	860件	760件	793件	
リピーター	43人	88人	125人	169人	217人	182人	202人	228人	291人	321人	
配布世帯数	141人	189人	212人	234人	252人	248人	276人	312人	349人	349人	